



おおあらい

Vol.372



感謝祭はおおにぎわい（商工感謝祭 記事11ページ）

特集

平成14年度町政懇談会みなさんからの
ご意見をまちづくりに活かします ...P. 2

Index

わが町トピックス	P. 5
みんなのひろば	P. 8
町のわだい	P.10
くらしの情報	P.12

12

2002

平成14年度 町政懇談会

みなさんからのご意見を まちづくり活かします

町民のみなさんからのご意見、ご要望を町政に反映させるため、9月26日から10月31日まで町内18会場で平成14年度の町政懇談会が開催されました。身近なことから町の将来に関することまで幅広く活発な意見交換が行われました。その一部を抜粋し要約して紹介いたします。



健康づくりや 生活環境について

ごみの集積場所に祝日にもかかわらず、ごみが出されたり、他の地区の人が通途中に捨てて行ってしまつ。ごみの出し方などについての周知を徹底してほしい

ごみの収集体制については、各戸にチラシなどで周知しておりますがさらに徹底していきたい。また、ごみ減量化のための資源ごみ回収を行っています。資源ごみ回収の収集日に資源ごみが集積場に出されている状況



もあるようです。

さらにリサイクルを進め、美しいまちづくりに町民のみなさんと取り組んでいきたい。

大洗にはノラ犬・ノラ猫が多い。外から来て捨てていつてしまつ。また犬のフンなど始末しない方がいる。飼い主には自覚を持って欲しい

定期的に茨城県動物指導センターで対応しております。里親探しの制度などもある。ご利用いただきたい。飼い主のモラルについては広報紙などを通じて啓発していきたい。

国民健康保険が財政難であると聞いている。町でも健康診断を充実し、病気の予防に力を入れては

町の集団検診は、原則無料で実施しています。また日曜日に実施するなどして、受診しやすいように努めています。これからも検診の受診率を上げ病気の早期発見を図っていきたい。

また、健康診断で注意事項が出た方を対象にケアのための「げんきクラブ」を実施し効果をあげています。



町内各所で行っているちょっくら健康館

まちの活性化について

アクアワールドが開館して、多くの入館者があるが町内に立ち寄っている人が少ない、行政と民間が一体となった活性化対策が必要では

今年3月からおさかな市を魚市場で開催しており好評です。この賑わいを直売施設につなげていきたい。直売施設については研究会をたちあげ、検討を重ねており、漁具倉庫跡地を利用して、にぎわいの場をつくっていききたい。行政主導ではなく、民間（出店する業者）

にも相応の負担をもつてもらうことも必要と考えています。

また商店街の活性化は自助、互助、公助の順で事がなされなければなりません。お客様のことを第一に考えたサービスが大切です。永町にほつとサロンをオープンしたところですが、お年寄りが集まり、ふれあいの中から商店街を利用していただければと思います。人にやさしい環境を作り、あわせて小売業の振興にも町民の皆さんとともに力を合せて取り組んでいきたい。



町内外の買い物客でにぎわうおさかな市



「ほつとサロン永町の縁台」について、現在の状況と町内各地区へのオープン計画は

現在、一人暮らし高齢者は約650世帯、老々世帯も合わせると1,100から1,200世帯になります。「ほつとサロン永町の縁台」は、町民の方々が気軽に集える場としていきたい。また、今後は保健師を配置し健康相談や商店街での買い物物の御用聞き、出前行政など人に優しい町づくりの核として町内各地区に広げていきたい。

日曜日にゆつくら健康館の前で開かれている市が大変好評だと聞く。新鮮な魚、野菜が多く、利用者の80%は町内の人だということだが、このような取り組みを町内各所に広げていけないか

ゆつくら健康館での夕市は非常に好評であると聞いている。計画中の直売施設には魚介類だけでなく、JAにも入ってもらい農作物も並べる予定であるので町民の皆さんにも生活市場としてご利用いただきたい。

昨今では交通の便が良くなり、日帰り客が多く、なかなか宿泊してもらえない。大洗の良さを感じてもらう、2、3泊してもらえよう魅力づくりをして欲しい

現在は箱物をつくつただけでは集客を図るには限りがあります。町では「健康と観光」と銘打ってソフト面での充実を図っていききたい。

海の学校事業も進んでいるところであり、アイアンキッズやライフセイビングクラブなど様々な事業を海に遊び、学び体験できるよう体系化し、水辺プラザの整備に合わせ水上タクシー的なものを整備していけば、ふれあい・体験事業とおして海の無い県から集客も期待できると思います。



町内の小学生を対象に行われているジュニアライフセイビング教室

教育について

学校が週5日制となり、地域と子どもたちとの関わりが重要になってくる。地域ぐるみの子育てを進めていかなければならないのでは

町内の小学校区ごとに組織されている学地連携実践委員会において各地区の特色をいかながら子どもたちと地域が交流する様々な取り組みを行っています。

また、大洗高校から海洋スポーツに取り組みたいとの申し入れがあり、町が持っている用具の手配など協力体制についての検討をし



町内の保育園(所)児・幼稚園児や小中学生がいるご家庭に配布した「おはようサンカレンダー」

ています。家庭教育の面からは、一日一言が書いてある日めくりカレンダーをつくり、家庭においての啓発をすすめています。

人口対策や合併について

人口が2万人を割っており、合併による市町村の規模が取りざたされている。今、町の経営がやっつけられるのか心配です。

少子化対策をしっかりとっていく必要があります。町では祝日に整備する町営住宅について、条例改正して町外からも入居できるようにすると共に、町外者には応募資格に子育てをする年代であることを条件に加えていく予定です。また、学童保育や児童館的なふれあいセンターなど子育てを支援していく体制を整備し

ていきたいと考えております。

国は都市再生ということと再開発に取り組んでおり、企業は地方に目を向けないという環境にあります。町では大貫台地の開発を早い時期に立ち上げ、新たな産業を誘致していきこうと考えており、長期的な展望を持って町が主体となる方策に取り組んでいきます。合併という関門は、新しいまちづくりの始まりだと捉えて、メリットとデメリットを検証する好機だと考えます。

市町村の合併問題については、どのように考えているのか伺いたい

合併ありきということではなく、大洗町が自立していく方向で考えています。今後大洗町がどのように進むべきか研究するため、議会や町執行部に研究会組織を

立ち上げたところです。合併が町民の皆さんにとって幸せに繋がることなのかどうか、我が町の良いところ、劣るところを整理研究し、皆さんのご意見を伺いながら考えて行きたい。



瀧ヶ崎東吉さんに平成14年度文化功労賞

瀧ヶ崎東吉さん（蔵前1区）は短歌・書道の普及に努められており、町の芸術文化の振興に尽力されています。

芸術文化の薫り高い町に 文化功労者 & 芸術文化祭



町の文化の向上に尽くされた方の功績をたたえる、平成14年度大洗町文化功労賞表彰式および第28回芸術文化祭入賞者に対する賞状授受式が11月3日に行われました。

芸術文化祭入賞者（敬称略）

書道の部

知事賞 菅谷 邦子（東光台2区）
町長賞 小林 恭子（ゆうもあ村）
優秀賞 福地喜千夫（永町11区）

金沢 重光（二丁目3区）
小野瀬きみ子（明神町9区）
福地 洋子（新町2区の1）
岡田 信次（永町14区）
宗像 志郎（髭釜2区）
加藤 宗一（新町5区）
川上 喜代（新町7区の3）
苅込 好子（永町5区）
田山美矢子（桜道7区）
落合 勇太（新町6区の2）

篆刻の部

町長賞 小松崎好夫（明神町8区の3）
優秀賞 飯島佐智子（永町16区の1）
奨励賞 横倉 トシ（東光台3区）
須田 典雄（永町7区）
川上 洋子（桜道2区）

工芸美術の部

知事賞 会沢 佳代子（永町11区）
町長賞 金沢 愛子（2丁目3区）
優秀賞 秋山 くり（永町16区の1）
鈴木 豊子（祝町2区の2）
大久保裕子（東光台3区）
永井 克子（新町1区の1）
植田 芳子（永町11区）

絵画の部

知事賞 関 博美（新町7区の2）
町長賞 阿部 政常（角一3区の1）
優秀賞 猿田 和江（寺釜1区）
奨励賞 加藤木元一（寺釜1区）

写真の部

知事賞 長澤喜代次（明神町5区）
町長賞 梅原 勝美（旭村）
優秀賞 溝口 邦二（明神町8区の1）
奨励賞 萩谷 隆（茨城町）
一家 幸男（通町2区）

陶芸の部

知事賞 佐藤 雅子（祝町2区の1）
町長賞 高橋 康夫（新町10区）
優秀賞 石田 政代（桜道4区）
横倉 トシ（東光台3区）

俳句の部

知事賞 加藤 宗一（新町5区）
町長賞 大貫千代子（浜欠）
優秀賞 浅見三千子（永町13区）
奨励賞 岸根世司子（髭釜5区）

短歌の部

知事賞 照沼とよ子（桜道4区）
町長賞 庄司千代子（仲町4区）
優秀賞 関根 秀子（新町6区の1）
奨励賞 堀野 満穂（前原1区）

みんなの努力で花いっぱい

「第30回花と緑の環境美化コンクール地方審査」優秀賞受賞



現在、大洗町では町内18ヵ所の花壇で19団体250名の方々が花壇の管理を行っています。夏季と秋季の2回、土壌づくりや花の植え込み、除草や水やり、追肥をし、6月にはサルビアやマリーゴールド、11月にはチューリップやパンジー、ピオラなどを育てています。

このたび、大好きいばらき県民会議等が主催する「第30回花と緑の環境美化コンクール地方審査」で新町6区の2町内会、新町10区町内会、ライオンズクラブ、ココス、祝町地区子ども会、祝寿会、磯浜女性会、愛友会、磯浜小学校がそれぞれ優秀賞を受賞しました。

今年の8月末に青森県おくやげん奥薬研温泉「夫婦かっぱの湯」の露天風呂で大洗からおいでになったというご夫婦と一緒にになりました。世間話や大洗についての話をし、大変楽しい時間を過ごさせていただき大洗町に機会があれば訪れてみたいと感じました。名前などを伺わなかったのが残念です。

その方が腕時計をお忘れになったようで、今お預かりしています連絡先などを調べることは出来ないでしょうか。

上記内容のご連絡が宮城県石巻市の白川様からありました。お心当たりの方は町総務課
☎267 5111（内線231）
までご連絡ください。

わくわく科学館入館者 30万人を達成

11月3日、大洗わくわく科学館の入館者が30万人を達成しました。30万人目の入館者となったのは千葉県飯岡町の長谷川さんご一家。家族4人で大洗を訪れ、見事幸運を手にししました。

長谷川さん一家には飯島館長からガリレオ温度計と科学館のマスコットロボット「レムちゃん」のペーパークラフトが手渡されました。



表彰

南中学校

時事通信社教育奨励賞「努力賞」

第18回時事通信社「教育奨励賞」の努力賞を南中学校が受賞しました。この賞は全国にある時事通信社の支社、総支局などが都道府県・政令指定都市ごとに教育委員会などの助言を得ながら公私立の幼稚園、小・中・高校の中から候補を選出、記者が直接取材しそれに基づいて選考、審査されます。南中学校は「移動教室型の施設で質の高い教育実現」が評価され今回の受賞となりました。



随想

わがまちに想いをよせて

大洗町長 小谷隆亮

ここは庁舎の2階である。この2階に私の執務室があり、部屋の二方がガラス張りで広い視界が広がっています。その窓越しには、重要港湾である大洗港、その先に悠々と広がる太平洋、青々とした大空に、ぽっかりと白い雲が浮かんでいます。日々の天候により表情を変える大洗町が、町民はもとより多くの方に親しまれる豊かな資源を持った愛すべき故郷の姿が望めます。

現在、経済、財政、教育、福祉あらゆる面で改革が進められようとしており、合併問題もその一つに上っています。この町の直面する現実を乗り越えながら次の世代にマイナス財産を残さないこと、時を越えて残すべきものは何かを見極めてみんなで創意工夫をし、知恵を出し合っていきたいと考えております。

ほとんどの人が顔見知りであり、共に生きるコミュニティが形成されている我が町。豊かな資源を守りながら、町民一人ひとりが精一杯自分の人生を編んでいます。明日の天気を風向きや雲の流れに尋ねて生きた昔の人々のように、身体や五感を自然にゆだねて生きる大切さを忘れずに、私たちも大洗の大地にしっかりと足を踏ん張って生きていきたいものです。

一年を振り返ると、待望のアクアワールド大洗水族館がオープンし、その魅力による来遊客が増え、高校総体の開催とあいまって、例年にも増してにぎやかな夏となりました。また一方、経済環境下の規制緩和により、残念ながら大洗-室蘭航路フェリーが運休となりました。苦小牧便に組み込まれ経営状況は今のところ順調と聞きますが、取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。

今年も大洗町の魅力を県内外にアピールするため、おさかな市やおさかなフェア、商工感謝祭、あんこう祭などたくさんの方々の熱意に支えられさまざまなイベントを開催することができました。厳しい環境は続いておりますが我が町の持つ恵まれた環境を活かし元気のあるまちづくりを進めていきたいと考えております。

今年も残すところわずかとなりました。この1年間のご支援とご協力に感謝するとともに皆さんにとって新年が輝かしい年でありませうご祈念いたします。

きれいな水をいつまでも 涸沼を環境調査



10月26日(土)涸沼と涸沼川で流域の9市町村による秋の一斉環境調査が行われました。

大洗町からは大貫小学校の児童や保護者などが参加し、桜道公園前の涸沼川から採水して、顕微鏡でのプランクトンの観察や水の汚染の様子を簡単な器具や薬品を使って調べました。また、川の汚れぐあいを色別にまとめ、地図に示した水質マップを作成し、参加した皆さんは改めてきれいな水の大切さを実感していました。